

# 君の名は。

## ～宿舎全全全世帯間のコミュニケーションを深めよう～

班員： 徳田伊織(班長) 李屋溪造(副班長) 桑原里奈(渉外) 鈴木賢人 信賀春輝  
中野奈美(印刷) 太田和志(DB) 西美佳(書記) 長山寛之  
指導教員： 甲斐田直子 TA: 増田祐太郎

### 1 はじめに

#### 1.1 背景

筑波大学には、一の矢・平砂・追越・春日の4つのエリアに分けて、全部で69棟もの学生宿舎がある。入学する新1年生を主な入居受け入れ対象とし、入学前に抽選を行っており、毎年多数の応募がある。

宿舎では同学類に限らず様々な人と暮らし、共同のキッチンや洗濯スペース等を使うことを通して交流の機会が多くあるだろう。しかし、実際に蓋をあけてみると、宿舎で隣人や同じ棟に住んでいるにも拘らず顔と名前が一致しない、同じ棟でも話したことがない人が何人もいた、などコミュニケーションが満足に取られていない状況が生まれている。また、入居者には宿舎に1年間住むことができる権利があるが、途中で退去してしまう人も少なくない。

一番古い宿舎は昭和49年からあり、未改修の棟は経年劣化による悪い生活環境に対する不満は避けられない。しかし、宿舎での生活に魅力がない・つまらない等、ソフト面が原因ならば我々で工夫して改善することができるのではないかな。我々は、コミュニケーション増加による宿舎生活の充実度向上の必要性を感じ、さらに宿舎自体のイメージアップにつながると考えた。



平砂 10号棟(昭和50年)

#### 1.2 目的

宿舎内でのコミュニケーションを生み出すために必要な要素として「空間」と「制度」に着目する。空間面では共用棟や各宿舎内の共用スペースの利用、制度面に関してはコミュニティリーダーの活用などに焦点を当て、居住者同士のコミュニケーションを促進する提案を考える。その結果、宿舎コミュニティ生活の満足度を向上させることを目指す。

#### 1.3 用語の定義

共用スペース: 学生宿舎居住棟内における共用部分。トイレ、シャワールーム、洗濯室、捕食室、談話室、キッチンに相当する。

交流スペース: 共用スペースのうち、日常生活で必ず使用する部分を除いたもの。捕食室、談話室、キッチンに相当する。

面識がある: アンケート調査にて、「顔と名前が一致している状態」と定義。会話等の交流の有無には依らない。

### 2 宿舎の実態調査

#### 2.1 現地調査

##### 2.1.1 春日宿舎

日時	平成29年5月2日 14:00～
----	------------------

玄関の中に入ると全員分の下駄箱がありここで靴を脱ぐ。他の宿舎ではこのような慣習は見られず、図書館情報大学時代の名残である。玄関正面には掲示板が設置されており、連絡事項、諸注意、目安箱に対する担当者からの返事と行った掲示がなされている。

また、宿舎民で集まって遊んだり、勉強を教え合ったりできるなど、自由に利用可能な談話室も存在する。コミュニケーションの活性化を図るには最適の場所なのではないか。

他にも浴場があるなど、上記にも述べた通り春日宿舎は本来図書館情報大学の管理下であったため他の宿舎には見られない独自のルールや施設が存在した。

##### 2.1.2 追越宿舎、平砂宿舎、一の矢宿舎

日時	平成29年5月2日 14:00～
----	------------------

追越宿舎には共用のスペースにソファが設けられていたり、一の矢宿舎の補食室は他の宿舎の倍ほどの広さがあったりなど宿舎間や棟ごとによって違いが見られた。コミュニケーションの活性化を促進させる場所としては、追越、平砂宿舎は廊下の広場、一の矢に関しては補食室が考えられる。

### 2.1.3 グローバルビレッジ

日時 平成29年5月10日13:45～

コミュニティステーションと呼ばれる共用棟には、24時間誰もが利用できるスペースと宿舎入居者が予約をすれば利用できるスペースがある。誰もが使えるスペースには軽食・飲料自販機、コピー機、居住者の宅配受け取りBOXがあり、宿舎入居者が利用できるスペースには、少人数で学習できる部屋、留学生向けの礼拝室、イベント紹介の掲示板、共有キッチン、和室、モニター・プロジェクターを完備した発表スペースがある。様々な催しを行うことが可能な空間となっている。グローバルレジデンスと呼ばれるシェア型住居は5つの個室、2つのトイレ、シャワー、リビングで形成されていて、ユニットでコミュニケーションが取れるように玄関からリビングを通らないと個室に行けないような工夫がされている。棟、部屋、個室の玄関とそれぞれ鍵がないと入ることはできないためプライバシーは守られていると言える。洗濯機は各棟にないため、男女分かれてまとめて置かれている場所に入居者は歩いて洗濯をしに行っている。これも入居者同士がコミュニケーションを取るための工夫と言える。以上のように様々な空間に入居者同士のコミュニケーションが取れる工夫と多様文化の人が生活できる空間となっている。

また、グローバルビレッジの住民の1年生女子2人に話を伺ったところ、「ユニット内でのコミュニケーションは積極的に行われているが、ユニット以外の人とかかわる機会にはほとんどない」と言っていた。さらに、「コミュニティステーションも利用したことがなく、そういった機会を設けてくれば、ぜひ参加したい」と述べていた。

## 2.2 ヒアリング調査

### 2.2.1 大学の宿舎運営方針

場所	本部アネックス棟
日時	平成29年5月8日 15:00～16:30
対象者	筑波大学施設部、学生生活課

大学一年目の新生が、学生間の交流を深めることを重要視している。

### 2.2.2 宿舎へのテーブルやソファの設置について

宿舎の中には、廊下や広いスペースにテーブルやソファが置かれている場合がある。私たちは、ソファや畳などを設置し“たまり場”を創出することでコミュニケーションを誘発できると考えていた。しかし、「未成年飲酒や騒音問題が起り、共同生活に支障をきたす」と学生生活課からの懸念が挙げられた。管理も大変である。また、利用するメンバーが固定化されている可能性もある。

### 2.2.3 宿舎土足禁止について

事前の宿舎見学調査において、春日の宿舎はエントランスに下駄箱が置かれ、建物内は土足禁止になっていた。清潔で住みやすい建物の良いイメージはコ

ミュニケーションへの積極性にも影響が生じる可能性があると思ひ、ほかのエリアの宿舎にも実装すればよいと考えた。春日エリアの下駄箱は、図書館情報大学時代に日本人用宿舎だった名残であり、今からすべての宿舎に同じようなエントランスホールを作るのは経済的に困難である。しかし、廊下に各部屋に下駄箱を置くのは、避難経路の妨げになるので問題である。

### 2.2.4 グローバルビレッジ

今年から運営がスタートした。宿舎(グローバルレジデンス)内には、5人分のラウンジと個室、キッチン、トイレなどがそろったユニットがあるが、別の建物で「コミュニティステーション」というものがある。既存の宿舎でいう共用棟のような存在であるが、大きく違う点は、スタディルームや、大人数用キッチン、多目的ホール、和室など学生間の交流を促進するような設備が整えられていることだ。これらは21時まで使用可能である。

このようなシェアハウスタイプの成功例として、一橋大学の学生寮を紹介していただいた。一橋大学では、寮生の代表者が頻繁に会議をし、リーダーとしてまとめる役割を担う代わりに、4年間の居住権利を与えられる。筑波大学は約2年で居住者が入れ替わるので、一橋の制度を取り込むのは少々困難である。

## 2.3 アンケート調査とその分析

### 2.3.1「筑波大学学生宿舎の生活環境に関する調査」

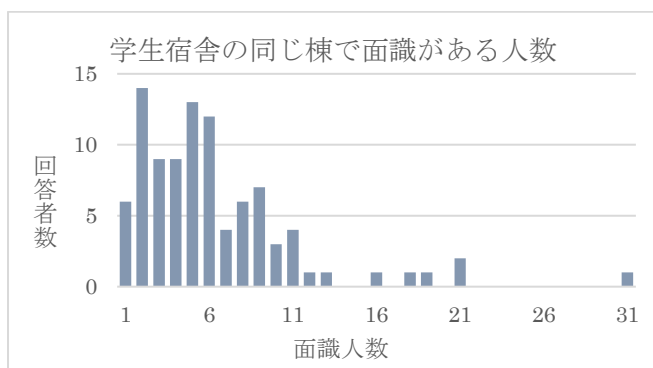
実施期間	平成29年5月6日～5月11日
回答者数	195人

宿舎生活におけるコミュニケーションの実態を把握するために、宿舎居住者、および過去に居住経験のある者を対象にしてアンケート調査を行った。当アンケートは、Google フォームにより作成し、全学年を対象(宿舎居住者が多い1年生中心)としてLINEを主な媒介として調査を行った。

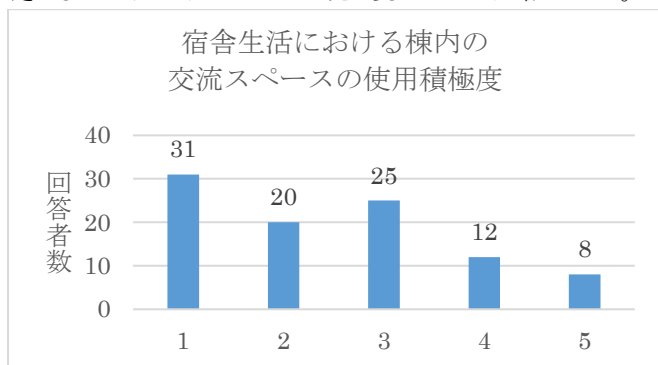
### 2.3.1 調査結果の概要

回答者属性(n=195)

社会工学類	46%
理工学群 (社会工学類を除く)	17%
情報学群	9%
体育専門学群	7%
人文・文化学群	6%
生命環境学群	5%
社会・国際学群	4%
その他	6%



上記によると、同じ棟内で面識をしている人数が10人以上であると答えた人が、回答者の約14%であり、実態としてコミュニケーションが充足しているとは言えない。



交流スペースの使用積極度は、4~5を回答している人が全体の約20%であり、現在は積極的に使用されているとは言えない。

### 2.3.3 F検定、t検定、相関係数

宿舎における交流スペースとコミュニケーションがどのような関係性を示すのかを明らかにするため、アンケート調査の結果より検定を行った。なお、分析の対象が多かったため、レジュメには検定により有意な結果が得られたもののみを掲載する。

検定では、次の内容について有意であると述べる事ができた。

- 1 近隣住民との面識がある人は、面識がない人に比べて、宿舎内全体の面識人数が多い。

(\*図1参照)

これは、回答者を「近隣との面識がある」と答えた人と、そうでない人の群に分け、両群の回答者の棟内全体の面識者数の平均値に差が存在するかを検定したものである。

- 2 交流スペース満足度が高い人は低い人に比べてコミュニケーション積極度、コミュニケーション満足度が高い。(\*図2、\*図3参照)

これは、「交流スペース使用満足度」の質問で、5段階中「1~2」と答えた人(低い群)と、「3~5」と答えた人(高い群)の群に分け、両群の回答者の、宿舎内コミュニケーションに対する満足度5段階評価の平均値に差が存在するかを検定したものである。

続いて、それぞれの変数間に相関関係があるかどうかを調べた。(\*図4参照)

従って、次の内容について一定の相関が認められる。

- 1 「交流スペース積極利用度」と「コミュニケーション積極度」
- 2 「近隣住民の面識の有無」と「コミュニケーションに対する積極度および満足度」

### 3 提案効果の見込みに関する仮説

アンケート分析で有意な差が確認された事項をもとに、以下のような仮説を設定した。

- (1)近隣の住民との面識ができれば、宿舎内の面識人数が増え、コミュニケーション積極度、満足度が高くなる。
- (2)交流スペースの使用満足度が増加すれば、コミュニケーションに対する積極度、満足度が高くなる。

従って、今後実験的に導入する施策としては、近隣住民との面識、および交流スペースの使用満足度が創生、促進されるものを提案することが望ましく、これにより住民間のコミュニケーションが活性化されることが期待される。

### 4 検証方法

交流スペース(特にコミュニティステーション、一の矢共用棟)の利用促進、および近隣住民との面識を促進する施策を導入し、その前後でアンケート調査を行うことにより、仮説で設定した効果を測定する。当アンケートは、施策を導入する宿舎の居住者のみを対象とし、前回のアンケートで特に有意な差が見られた要素についてより詳しい質問を行う。

### 5 今後の方針

アンケート調査の結果からは、交流スペースにあったら良いものとしてソファや冷暖房の要望が多く、今後の提案として展開していくつもりであった(\*図5参照)。

しかし、施設部のヒアリング調査において、維持管理の方法や予算面の都合により、実現が極めて困難であるとの見解が得られたため、比較的实现可能な回覧板、掲示板の導入を計画している。

また、交流スペースの利用促進を図る目的で、イベントの企画を検討している。具体的な例としては、スポーツ観戦やお料理教室、映画鑑賞会、季節ごとのパーティーといった内容を考えている。

スポーツ観戦に関しては、6/7(水)19:00から行われるサッカー日本代表 vs シリア代表の試合中継を、コミュニティステーションと一の矢の共用棟でパブリックビューイングとして行うことを検討している。イベントを行う際には、宿舎放送や掲示板、メールなどを利用して事前告知も行う予定である。

さらに、実際にイベントの需要はあるのかということや、宿舎の居住者全員がコミュニティステーションを使用できるということを知っているか、といった内容のアンケート調査も実施する予定である。

### 6 参考文献

2015 都市計画実習スマートキャンパス班

「Why Japanese people! ~どうして宿舎で交流しないの!~

付録

(\*図1)

面識人数	度数	平均値	標準偏差	t 値	有意確率
近隣と面識なし	33	3.30	5.24	2.96	**
近隣と面識あり	62	6.69	5.31		

(\*図2)

コミュニケーション積極度	度数	平均値	標準偏差	t 値	有意確率
交流スペース満足度 低	29	2.52	1.10	-2.16	**
交流スペース満足度 高	66	3.00	0.94		

(\*図3)

コミュニケーション満足度	度数	平均値	標準偏差	t 値	有意確率
交流スペース満足度 低	29	2.93	0.98	-2.83	**
交流スペース満足度 高	66	3.53	0.93		

(\*): $p < 0.05$  (\*\*): $p < 0.01$

(\*図4)

	コミュニケーション満足度	コミュニケーション積極度	交流スペース満足度	交流スペース積極度	面識がある人数
コミュニケーション満足度					
コミュニケーション積極度	0.453**				
交流スペース満足度	0.301**	0.232*			
交流スペース積極度	0.109	0.189	0.201		
面識がある人数	0.340**	0.342**	0.166	0.152	

(\*): $p < 0.05$  (\*\*): $p < 0.01$

(\*図5)

ソファ	42人(50.6%)
冷房・暖房	36人(43.4%)
テーブル、いすの増設	30人(36.1%)
学生掲示板	22人(26.5%)
清掃用具	19人(22.9%)
土足禁止のスペース	8人(9.6%)
その他	7人(8.4%)